

☆はじめに☆

夏本番！日差しがキラキラと輝く季節となりました。太陽の下、子どもたちの遊びもパワー全開。毎日プールや水遊びを元気いっぱい楽しんでいます。大人も子どもも疲れやすいこの時期で、特にご高齢の方の熱中症が増えているようです。皆さま休息を十分取って、早寝早起きを心がけましょう。

☆楽しかった祖父母参観☆

保育園で初めての祖父母参観を開催しました。当日は多数のお客様にお越し（北海道、島根、広島等遠方からも）いただきました。子どもたちの日常を披露でき、盛会のうちに終わることが出来ました。祖父母の皆さまが従来お持ちの「保育園」へのイメージは必ずしも良いものではなかったかもしれませんが、参観をとおして認知いただき、多数の喜びの声を直接、連絡帳、お礼の手紙を介してうかがうことができ、職員一同大変嬉しく感じるとともに、益々やってやろうと気を引き締めている次第です。本当にありがとうございました。今度は運動会で子どもたちらしい姿をご披露します、どうぞお楽しみに・・・

☆楽しかったFUN・FUN・DAY☆

お泊り会（FUN・FUN・DAY）を開催しました。今回のメンバーはミント、オリーブさんでの少数精鋭。午後から食材の買い出し、スイカ割り、夕食調理、夕食、お楽しみ会、夜のお散歩とびっしりのスケジュールを無事にこなすことが出来ました。要素ごとに子どもたちそれぞれに役割を持たせた上で、互いに補い合いながらすべてをやり遂げ、一人ひとり達成感が十分得られたのではないかと思います。ご協力ありがとうございました。食材の買い出しでは「このスーパーで何でも揃うからここにしよう。」と言う園長に「じゃがいもはココ、ピーマンはここ。」と安いお店を選んで買うために通りを回往復もする、疲れ知らずでバイタリティあふれる子どもたちでした。

☆毎朝の健康観察を☆

毎朝子どもたちのようすを観察し、少しでも変化があれば必ず教えてください。例：せき、鼻水、湿疹、目の充血、熱、顔色、機嫌、子どものことば「だるい」「しんどい」「痛い」など。園でも注視してまいります、些細なことでもお知らせください。

☆熱性けいれんについて☆

熱性けいれんはひきつけ、身体硬直、意識喪失と大変な症状です。原因は乳幼児の未発達な脳では発熱で神経が異常に興奮した場合に起こるといわれているようですが、詳しくは未解明のようです。体温の上がり始めのころに起こりやすいとも言われています。あわてずに対処しましょう。

【熱性けいれんが起こった場合は】

・吐いたものが気道に入らないように顔を横向きにして寝かせる。

・冷静に様子を見て、けいれんの時間（始まり、終わり）と症状を確認する。

・数分で収まれば救急受診は必要ないが、発熱の治療のために小児科の訪問を

【こんな場合は早期に受診を】

・けいれんが長く続く、あるいは1回の発作は短くても、意識が戻らないうちに次のけいれんを繰り返す場合

・発作が収まったあとも数十分経っても意識が回復してこない、意味不明の言動をする場合
落ち着いた対応を心がけ、「119」の前に「#8000」の救急電話相談（医師や看護師が受診の是非、対処法を回答）機関を利用しましょう。

☆暑い夏を元気に過ごそう☆

★こまめな水分補給を

脱水症や熱中症にならないよう気をつけ、十分水分をとりましょう。園でも朝からお茶を用意しています。

★冷えすぎに注意を

エアコン無しでは暮らせないほどの暑さですが、温度調整し、冷えすぎないように注意しましょう。

★規則正しい生活を

「早寝早起き朝ごはん」よく耳にします。生活は夜型化していますが、「早く起きる」ことから習慣づけを。この季節は特に朝の涼しいうちに活動し、暑い昼間に休息するなどして、健康に過ごしましょう。

★栄養を十分に

食欲も落ちるこの季節で、あっさりしたものについて手が伸びてしまいがちですが、スタミナの付くものもしっかりとりましょう。雰囲気を変えて食事をパーティー風にアレンジして楽しむのもいいですね。

★感染症に注意を

ヘルパンギーナ、プール熱、はやり目、水いぼ、とびひ等があります。早めに治療しましょう。

行事予定

9（火）身体計測（0～2 オクラス）

10（水）身体計測（3～5 オクラス）

17（水）健康診断（0・1 オクラス）

23（火）24（水）運動会リハーサル
（平和公園）

25（木）お誕生会

26（金）運動会リハーサル（国際交流C）

31（水）運動会リハーサル（平和公園）

☆職員研修☆

2（火）保育士交流（宮原・鈴木）

4（木）保育所実地（野田）

22（月）幼児教育上級（原口）

